

2026(令和8)年度 事業計画書の概要

2026年5月8日
(一社) 日本民営鉄道協会



民鉄協公式キャラクター
「ミーカちゃん(左)」
「ぴびまる(右)」

＜目次＞

序章 協会改革の総仕上げとそれに基づく各種施策の実施 ～ 政策提言力や要望活動力の強化と発揮 ～

第一章 会員各社の事業面での取組の強化を目指して

1. 民鉄の利用促進に向けた取組の強化 … 需要面の課題への対応
2. 民鉄業界の人材確保に向けた取組の強化 … 供給面の課題への対応
3. 民鉄業界の基盤強化に向けた取組の強化 … 経営面の課題への対応

第二章 安全・安心で利用しやすい民鉄の推進と持続性の確保を目指して

1. 安全・安心対策の徹底
2. 鉄道サービスのさらなる向上
3. 従業員が安心して働ける環境の確保に向けた取組の強化
4. 地域公共交通の再構築に向けた国・自治体の取組に連動した地方民鉄の再生・活性化の取組の強化

第三章 民鉄業界への支援の拡充や事業環境の整備等を目指して

1. 民鉄関係予算、税制、財投制度の拡充・改善等
2. 広報活動の積極的展開
3. 社会貢献活動や関係者との連携協力その他、民鉄業界の社会的価値の向上に資する取組

今年度の策定方針及びポイントは次のとおり。

＜策定方針①＞

これまで進めてきた協会改革を、総仕上げに向けてさらに推進する。

序章 協会改革の総仕上げとそれに基づく各種施策の実施 ～ 政策提言力や要望活動力の強化と発揮 ～

○これまでの主な取組

- ・ 定款改正による協会の目的や事業の見直し
- ・ 協会運営の見直し
 - 企画・戦略委員会の立ち上げ
 - 協会事務局体制見直し 等
- ・ 協会の発信力、存在感の一層の発揮
 - 協会の基本理念を整理し表現する「MVV」の策定、「ロゴマーク」の制作
 - 協会発足60周年(2027(令和9)年)に向けた記念事業の検討

○次なるステージ

- ・ これまで取り組んできている改革の基盤を活かし、業界ニーズを的確に汲み取り、業界団体として政策提言・要望をまとめあげ、効果的にアピールして実現に繋げる。
- ・ 具体的にはこれまで把握している次のような業界の課題に対し、関係委員会のもとに新たに研究会を設置するなどして検討を進めることとし、必要に応じて外部の知識・ノウハウも活用し、できるだけ速やかに一定の成案を得る。
 - ①運賃料金制度の改善、運用の更なる見直し
 - ②短期的な資本効率追求の株式市場の中での鉄道経営のあり方
 - ③駅の再開発、まちづくり、沿線開発の抱える課題への対応
 - ④外国人材を含めた人材確保や省力化など、人材確保難にどう対処すべきかといった課題への対応
 - ⑤改札・決済システムのあり方
 - ⑥地方民鉄の活性化・再構築
 - ⑦鉄道構造物の老朽化対策

＜策定方針②＞

メリハリをつけた構成とし、今年度特に重視して取り組む内容を第一章に掲げた。

第一章 会員各社の事業面での取組の強化を目指して

1. 民鉄の利用促進に向けた取組の強化 … 需要面の課題 への対応

(1) インバウンド等観光需要の取り込み

- ・ 地方民鉄を利用した旅の魅力の周知、地方民鉄等の利用の促進
協会ホームページのグローバルサイトの充実
地方鉄道等の旅の体験（民営鉄道コンテンツ化）の発信
関連団体等との連携による発信強化

- ・ 受入環境整備としての日本の鉄道利用マナー啓発

(2) 沿線開発、駅前再開発等まちづくりに係る取組の積極化

- ・ 企画・戦略委員会の充実や、実務クラスの研究会の設置等効果的な検討体制の整備
- ・ グループ企業を含むトップクラスの懇談・情報共有・意見交換の場の実現に向けた環境整備

(3) 環境にやさしい鉄道の脱炭素に向けた一層の取組と啓発活動

- ・ 「民鉄業界におけるカーボンニュートラル行動計画」の新たな目標設定の検討
- ・ 鉄道GX官民研究会が策定した目標及び戦略への対応
- ・ JRグループ・日本地下鉄協会との連携などによる効果的なPR

2. 民鉄業界の人材確保に向けた取組の強化 … 供給面の課題への対応

(1) 委員会活動の充実・強化など

- ・ 国土交通省鉄道局などの公的機関との省人化等に資する各種施策を含めた情報共有
- ・ 協会外の鉄道事業者、団体との連携も考慮した活動の深度化
- ・ キャリアトレイン制度、カスタマーハラスメント対策、「鉄道事業等及び自衛隊における人材確保の取組に係る申し合わせ」に係る各種取組
- ・ 人材確保に向けた鉄道業界の仕事への理解促進

(2) 外国人労働力の確保への対応

- ・ 会員各社と連携した国土交通省検討会への要望
- ・ 事業者等からの情報収集、会員専用ホームページによる情報発信
- ・ 協会内の体制強化を図りつつ、「外国人材セミナー」を実施・発展

3. 民鉄業界の基盤強化に向けた取組の強化 … 経営面の課題への対応

(1) 短期的な資本効率が追求される株式市場における持続可能な鉄道経営を目指して

- ・ 長期的な視点とは相いれない短期的な経営指標を強いられる株式市場対応について、現状（株式市場で求められる各種経営指標の考え方、各社におけるそれらへの対応の動向等）の把握、課題の分析、業界団体としてできる方策など、適切に会議体を活用することなどにより、会員各社の期待にできる限り応えていく。

(2) 運賃・料金制度の改善や運用の更なる見直しに向けて

- ・ これまで検討が進められその反映もされてきているが、制度や運用になお改善点はないか、施設の老朽化更新投資は十分か、自然災害対策に伴うような大規模投資にどのように備えるかなど、制度や運用に関する会員各社の思いについて、会議体等を活用しながら的確に把握し、政策提言や要望活動につなげていく。

(3) 信頼できる安全な鉄道をより一層目指して

- ・ 安全・安心対策の徹底、特に利用者への影響や社会的関心が大きい列車衝突や脱線事故、大規模自然災害や老朽化に起因する事故、サイバー攻撃などの防止や抑止、備えや対応に万全を期すべく、関係の会議体等を通じ適切に対応していく。

＜策定方針③＞

第一章に掲げたもののほか、今後拡充又は新たに取り組む事項を中心に第二章及び第三章に掲げた。

第二章 安全・安心で、利用しやすい民鉄の推進と持続性の確保を目指して

- ①首都圏における広域降灰対策についての情報共有、対策の検討
- ②改正バリアフリー法の新整備目標達成に向け各社と連携し施策推進、女性用トイレにおける行列問題の改善に向けた適切な対応
- ③カスタマーハラスメントに関する業界団体マニュアル改訂、全国の鉄道事業者と協働したポスター掲出
- ④地方交通委員会での「現地視察会」を通じた現場実情の共有や、「持続可能な地方民鉄のあり方に関する専門部会」における検討
- ⑤「地方民鉄旅ガイド」の充実や「地方民鉄フォトコンテスト」受賞作の掲載・展示を通じた地方民鉄の魅力発信
- ⑥外国紙・ラジオ局・通信社等と連携し、積極的にチャンスを見出し地方民鉄のPR活動を実施

第三章 民鉄業界への支援の拡充や事業環境の整備等を目指して

- ①リースに関する会計基準等への適切な対応
- ②ホームページの大規模改修
- ③MVV・ロゴマークの周知、「民鉄」「みんてつ」の認知度向上
- ④WEB版民鉄会報の閲覧数増加
- ⑤2027年国際園芸博覧会「GREEN×EXPO2027」等の支援
- ⑥国土交通省鉄道局との勉強会実施
- ⑦台湾鉄道観光協会との連携施策
- ⑧協会発足60周年記念事業の具体化